

令和6年度事業報告

(自：令和6年4月1日 至：令和7年3月31日)

公益財団法人ホシザキグリーン財団

令和 6 年度 公益財団法人ホシザキグリーン財団 事業報告

(自：令和 6 年 4 月 1 日 至：令和 7 年 3 月 31 日)

【概要】

人と自然の調和した自然環境の保全に資することを目的とし、野生動植物の保護繁殖に関する各事業に取り組んだ。実施した主な事業は次のとおりである。

I. 事業部門

1. 野生生物研究所事業 (定款第 4 条 第 1 項 第 1、3、5 号該当事業)

- (1) 調査研究・情報収集発信事業を中心に、宍道湖グリーンパークやふるさと尺の内公園の環境整備の検討のほか、各種の普及啓発活動も含めた財団の幅広い事業を支えるべく運営を行った。
- (2) 調査研究や普及啓発事業に必要な資料（文献・標本等）の収集・保存、それらを活用するための整理など活動基盤を維持する拠点として運営を行った。
- (3) 標本室と図書室の温度や湿度などを管理した。
- (4) 野生生物研究所の実習室を、宍道湖グリーンパークの団体対応や観察会などの室内プログラムの実施場所の一つとして運用した（年間 65 件、のべ 3,539 人）。
- (5) 公益財団法人しまね自然と環境財団および公益財団法人しまね海洋館と「島根県環境教育ワーキングネット研修」を共催し、講演会会場として研究所実習室を提供した（2/23）。

2. 宍道湖グリーンパーク事業 (定款第 4 条 第 1 項 第 2、3 号該当事業)

- (1) ビオトープならびに公園施設として宍道湖グリーンパークおよびビオトープ池の適切な管理を行った。
- (2) 園内の維持管理は昆虫や野鳥など野生動植物の生息に配慮して実施し、除草・剪定作業による発生材の一部は小動物のすみかとするべく、木積や腐葉土として利用した。
- (3) 園内のゾーニングプランに基づき、各ゾーンの維持管理を行った。
- (4) 野鳥観察舎や園内に鳥類や昆虫類、植物などの解説を掲示し、フィールド情報を時節にあわせて更新するなどの掲示物の管理を行った。
- (5) 野鳥観察舎において、捕虫網や双眼鏡の貸出、季節の生物のぬりえの配布などのサービスを実施した。
- (6) 野鳥観察舎の企画展コーナーにおいて、企画展以外の期間も時節にあわせた自然に関する展示の切り替えを行った。
- (7) ペンギンミュージアム（約 2,000 点のペンギングッズを展示）の管理を行った。
- (8) ビオトープ池において、水鳥の飛来時期に合わせた水位調節を実施した。
- (9) 白鳥の採食場として、グリーンパーク周辺農地約 10ha に地権者の協力を得て水を張り、飛来環境の整備を実施した。

- (10) 野鳥観察舎等で年間 81,645 人の利用者があった（開園より 901,111 人）。
- (11) 団体等の利用申し込みは 143 件（のべ 4,314 人）であり、そのうち野鳥観察などのプログラムやレクチャーを伴う体験活動は年間 76 件（のべ 2,610 人）、施設の見学などの利用が 67 件（のべ 1,704 人）であった。

3. ふるさと尺の内公園事業（定款第 4 条 第 1 項 第 2、3 号該当事業）

- (1) ビオトープならびに公園施設として尺の内公園の適切な管理を行った。
- (2) 園内のさらなる魅力向上として取り組んでいる環境整備について、ランドスケープデザイナーのポール・スミザー氏の監修に基づいた植栽の追加や維持管理を行った。
- (3) 園内の樹木は、適切な間隔に保つために剪定や伐採を行い、法面では繁茂したタケを伐採した。これによる発生材の一部は木積にして小動物の生息場所や、チップ化して腐葉土にすることで土壌動物の生息に供した。
- (4) 園内の人工池を活用してオニバスの系統保護のための試験やモニタリング等を継続した。
- (5) アメリカザリガニやキシノウエなど園内にすむ侵略的外来種の回収を行い、在来生物への影響の低減を図った。
- (6) 園内の池に発生する藻類の回収を行うなどして水質の維持を行った。
- (7) 園内でバーク堆肥を作り、植栽場所の肥料やマルチング材として使用した。
- (8) 管理棟の草屋根に植栽した多年草の在来植物を維持する管理をした。
- (9) 季節変化や花の時期に合わせて種名板を更新した。
- (10) 乾燥裸地のビオトープとして整備した隣接地の環境を維持するため、砂の入れ替え工事を行った。
- (11) 公園に隣接する丘陵地に植栽したクヌギや草地環境を維持するための管理を行った。また、管理道を含む道路の草刈りや倒木の除去、側溝の清掃などを行った。
- (12) 里山林として維持するため、林内の植生の変化などを継続的に観察し、検討を行った。

4. 調査研究事業（定款第 4 条 第 1 項 第 1、2 号該当事業）

- (1) 職員による自主研究を次の課題で取り組んだ。

〈鳥類研究〉

- ① 鳥類の環境利用特性の研究
- ② マガン・ヒシクイ・コハクチョウの日周行動特性の研究
- ③ 特定鳥類の生息状況調査（しまねレッドデータブック掲載種、県内繁殖情報不足種、注目種等）
- ④ 尺の内公園の鳥類調査
- ⑤ グリーンパークの鳥類調査
- ⑥ 鳥類生息情報の集積
- ⑦ カモ科鳥類カウント調査
- ⑧ 白鳥の採食場の利用状況モニタリング
- ⑨ ビオトープ池の鳥類調査

〈昆虫類研究〉

- ① ネクイハムシ亜科の進化生物学的研究
- ② 日本産水生甲虫類の分類学的研究
- ③ 島根県の水生昆虫類の保全生物学的研究
- ④ 山陰の海岸に生息する昆虫類や節足動物に関する研究
- ⑤ 島根県産昆虫目録作成のための基礎調査
- ⑥ グリーンパーク昆虫類調査
- ⑦ 尺の内公園の昆虫類調査

〈植物研究〉

- ① 島根県産植物の調査ならびに染色体観察
- ② 特定植物種の産地や形態に関する調査と染色体観察
- ③ 特定植物種の分類学的研究
- ④ オニバスの保護増殖に係る生育調査
- ⑤ 尺の内公園の植物調査
- ⑥ 絶滅危惧植物の生育環境に関する実験調査

〈その他〉

- ① 島根県の淡水・汽水生物の調査
 - ② ビオトープ池の生物調査
 - ③ 島根県の水生生物の遺伝的多様性の調査
- (2) 共同研究として「島根県におけるタイワンタケクマバチの分布状況調査」「隠岐固有両生類 2 種の環境 RNA 手法の開発と生息実態の解明」「自然環境下における貯穀害虫相調査」「昆虫や水生生物を対象とした生態学的・行動学的研究」の 4 課題を実施した。
- (3) 調査協力として、環境省が実施しているモニタリングサイト 1000 などの全国的な生物調査（鳥類・淡水魚）や島根県より外来生物（昆虫・クモ）の同定依頼などに協力した。
- (4) 委託研究として「中海周辺におけるガン・ハクチョウ類の採食分布調査」「隠岐産鳥類および昆虫類リスト作成のための基礎調査」「島根県産水生昆虫類の保全生態学的研究」など 7 課題を委託して実施した。
- (5) 地域貢献技術開発に関するプロジェクト事業として、汽水を活用したシラウオの大量飼育技術の向上について陸上養殖にも応用可能なレベルを目指して取り組んだ。
- (6) 研究体制を維持するため 6 名の客員研究員を委嘱した。
- (7) 財団の研究報告書や環境修復プロジェクト報告書をはじめ、他団体発行誌に 28 題の研究論文や短報などを発表した。
- (8) 学会や研修会等で 12 題の発表を行った。
- (9) 「ホシザキグリーン財団研究報告 第 28 号」を発行した（論文 15 題、短報 10 題、資料 9 題；328 頁）。
- (10) 「ホシザキグリーン財団研究報告 特別号」を発行した。
- ・第 34 号 DNA を用いた島根県産生物の研究 II（109 頁）

5. 普及啓発事業（定款第4条 第1項 第4号該当事業）

（1）宍道湖グリーンパークで以下の企画を実施した。

①自然観察会やイベント

- ・定例自然観察会を11回開催した。
- ・日曜の午後に短時間の自然ガイド「グリーンパーク生きものちょこっとガイド」を34回実施した。
- ・春の大型連休のイベントとして、「GWスペシャルスタンプラリー」や「園内おさんぽクイズ」などを実施した（4/27-29, 5/1-6）。
- ・宍道湖グリーンパーク開園記念月関連企画として、「グリーンパーク生きものスタンプフェスタ（オリジナルスタンプ帳プレゼント）」を実施した（6/1-30）。
- ・「宍道湖グリーンパークでマガン・コハクチョウの初渡来日を予想しよう！2024（オリジナルクリアファイルプレゼント）」企画を実施した（9/1-30）。
- ・夜間開園イベント「ナイトグリーンパーク」を実施した（10/19, 26）。
- ・宍道湖・中海 ラムサール条約登録月イベントとして「グリーンパークで水鳥カレンダーを作ろう」を実施した（11/2-4）。
- ・お正月の先着プレゼント（島根県産どんぐりをデザインしたオリジナルリュックサック）企画を実施した。（1/2-5）。
- ・世界湿地の日に関した工作企画として、「2月2日は世界湿地の日 宍道湖めぐみ工作を楽しもう」を実施した（2/8, 9, 11）。
- ・クリスマス、お正月の時期に合わせて「宍道湖グリーンパークでスペシャルキンちゃんぬりえをゲットしよう!!（期間限定ぬりえ配布）」企画を実施した（12/11-25, 1/2-15）。
- ・宍道湖グリーンパークへの来園促進のため、宍道湖自然館の来館者を対象として、宍道湖の生きものを紹介したシールラリーイベントを実施した。自然館と野鳥観察舎にポイントを置き、シールを4つ集めた方にキラキラシールをプレゼントすることでより直接的に来園促進を行うものとした（8/1-9/2）。
- ・宍道湖自然館のだんだんまつり開催にあわせ、来場プレゼントとしてオリジナルぬりえブックを配布した（3/15-16）。

②企画展

- ・野鳥観察舎で夏の企画展「しまねアリジゴク大図鑑」を開催した（7/10-9/2）。
- ・夏休みの自由研究などに利用できる「アリジゴク研究ノート（B5）とクリアファイル」のセットを各日数量限定で配布した。（7/10-9/2）。
- ・アリジゴクについて研究員が解説するミニ講演会を開催した（7/15）。
- ・野鳥観察舎で冬の企画展「We Love どんぐり featuring まつぼっくり」を開催した（11/20-1/13）。
- ・展示会場で来場者がチャレンジした5種類の競技ごとにスタンプを押すことができるスタンプシートを配布した。
- ・企画展関連イベント「工作しよう！どんぐり・まつぼっくり」を開催した（12/14-15）。

③主な季節展示

- ・野鳥観察舎に企画展がない時期にも、以下のまとまった展示更新を実施した。
「ふるさと尺の内公園開園 30 周年 行ってみませんか？ふるさと尺の内公園」(5/29-7/8)
「宍道湖周辺のガンとハクチョウ」(9/4-11/18)
ナイトグリーンパーク関連ミニ展示「のぞいてみよう！夜の生きものたち」(10/9-28)
「世界湿地の日」(1/15-3/10)
「春を彩る生きものたち」(3/12-5/26 継続予定)

④各種協力

- ・令和 6 年度愛鳥週間用ポスター図案コンクール入賞作品の展示会場として野鳥観察舎にコーナーを設けた (4/27-5/19)。
- ・宍道湖沿線ファミリー月間 2025 スタンプラリーに協力した (10/1-31)。
- ・施設間の相互協力として、米子水鳥公園と宍道湖・中海 ラムサール条約登録月に合わせて「スタンプをおして、カンバッジをもらおう！」を実施した (10/19-11/18)。
- ・「わくわく体験講座（島根県立青少年の家主催）」(12/8)。
- ・宍道湖水環境改善協議会「宍道湖絵画コンクール」作品の展示会場として野鳥観察舎にコーナーを設けた (1/15-3/10)。

⑤その他

- ・グリーンパーク利用者（主に団体）の申し込みに応じて観察プログラム等の対応をした（年間 76 回、のべ 2,610 人）。
- ・パークボランティア(15 名)を登録し、観察会の企画実施のほか、イベントや園内の作業補助などに関わった。
- ・パークボランティアの連絡誌を発行(56-59 号)したほか、研修旅行(3/5)を実施した。

(2) ふるさと尺の内公園で以下の企画を実施した。

①自然観察会やイベント

- ・定例自然観察会を 11 回開催した。
- ・地元小学校等の希望に応じて自然観察等の対応をした（年間 2 回、31 人）。

(3) 野生生物研究所関係で以下の企画を実施した。

①普及用の発行物等

- ・ニュースレター「HOWP」を発行(74-77 号)し、自然情報等の発信に努めた。

②研究報告会の開催

- ・ふるさと尺の内公園の開園 30 周年を記念し、ポール・スミザー氏講演会および研究報告を開催した(10/14；ホシザキ株式会社 島根本社工場 ペンギン館)

(4) ホームページ

- ・ホームページならびにソーシャルネットワーキングサービスの運用によって、自然情報やイベント開催の発信を行った。

(5) その他

- ・宍道湖グリーンパーク&ゴビウスラムサール探偵団としてプログラムを実施(6/8, 7/6, 9/7, 11/16, 12/21)したほか、活動内容を紹介する冊子を発行した。

- ・ラムサール探偵団参加者に呼びかけて令和6年度子どもラムサール交流会に協力した(1/25-26)。
- ・自然環境学習「子ども探検スクール(中海・宍道湖・大山圏域市長会主催)」(11/23)、「ラムサール条約湿地宍道湖・中海水鳥観察会(島根県主催)」(12/21)において宍道湖グリーンパーク等でガイドを行った。
- ・学校や地方公共団体等が主催する観察会や研修会等に講師を派遣した(年間6回)。

6. 情報収集発信事業(定款第4条 第1項 第1、4、5号該当事業)

- (1) 文献、標本、写真、映像などの資料収集・整理につとめた。
 - ・文献は、購入446冊、寄贈・交換1,197冊、計1,643冊を取得した。
- (2) 鳥類等の観察情報について職員の記録や宍道湖グリーンパークに寄せられる情報をデータベースに入力した。

7. 地方公共団体からの受託事業(定款第4条 第1項 1、3、4号該当事業)

- (1) 島根県立宍道湖自然館管理運営業務(指定管理、主管課:島根県水産課)

宍道湖自然館ゴビウスの管理運営を行い、普及啓発や調査研究などの各種事業を実施した。詳細は別資料(宍道湖自然館館報No.24)。
- (2) 自然環境調査研究業務(委託:出雲市)

出雲市内のため池(平田地域の15ヵ所)の水生動植物の調査を行ったほか、4ヵ所での環境DNA分析を実施した。小冊子「平田地域のため池の生きものたち2～ため池の自然環境調査と環境DNA分析～」(28頁)を作成した。
- (3) ガン・カモ類生息調査業務(委託:島根県森林整備課)

宍道湖、中海、神西湖、高津川、蟠竜湖でカモ科鳥類の個体数調査を実施した(1/12)。
- (4) しまねレッドデータブック改訂現地調査業務(委託:島根県自然環境課)

しまねレッドデータブックの改訂のため、委託された分類群について、改訂委員と協議しながら、野外調査の実施や調整を行った。

Ⅱ. 管理部門

1. 監査

令和6年5月1日に、高橋良昌監事、中村真実子監事により令和5年度一般会計及び業務の監査を受け、会計および業務とも適正と認められた。

2. 理事会

令和6年4月30日 第1回理事会

- ・理事候補者（案）の承認について
- ・監事候補者（案）の承認について
- ・評議員候補者（案）の承認について
- ・臨時評議員会（第2回）の開催について

令和6年5月17日 第2回理事会

- ・令和5年度事業報告（案）の承認について
- ・令和5年度決算報告書（案）の承認について
- ・定時評議員会（第3回）開催および開催日時について

令和6年6月4日 第3回理事会

- ・令和5年度事業報告について報告
- ・令和5年度決算報告について報告
- ・理事長、副理事長、常務理事の選任について

令和6年10月21日 第4回理事会

- ・自然環境積立資産でホシザキ株式を購入する件について

令和7年3月4日 第5回理事会

- ・令和6年度収支予算変更の承認について
- ・令和7年度事業計画、収支予算の承認について
- ・資産取得資金の積立について

令和7年3月13日 第6回理事会

- ・ホシザキ株式会社第79期株主総会議案の賛否について
- ・坂本ドネイション・ファウンデーション株式会社の株主総会議案の賛否について

令和7年3月26日 第7回理事会

- ・理事の辞任と理事候補者（案）の承認について
- ・令和7年度臨時評議員会（第1回）の開催について

3. 評議員会

令和6年4月15日 臨時評議員会(第1回)

- ・評議員の辞任とその補充選任について

令和6年5月17日 臨時評議員会(第2回)

- ・理事の選任について
- ・監事の選任について

- ・評議員の選任について

令和6年6月4日 定時評議員会(第3回)

- ・令和5年度事業報告について
- ・令和5年度決算報告について

令和6年11月22日 臨時評議員会(第4回)

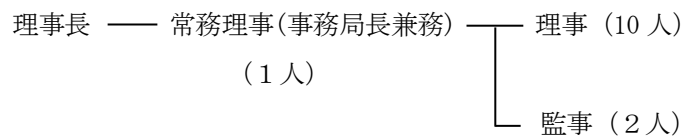
- ・評議員1名の辞任について

【組織】

理事長以下理事11名、監事2名、評議員6名、職員40名で管理運営にあたった。

(令和7年3月31日現在)

(1) 役員



(2) 評議員

評議員 (6人)

(3) 職員

